

## LCsolution の環境設定

分析に使用する装置構成を変更したり、装置と PC がうまくリンクしない場合に環境設定をやり直す必要があります。

### ----注記----

LCsolution で環境設定をする前に、ご使用頂くすべての装置の電源が入っているかご確認ください。

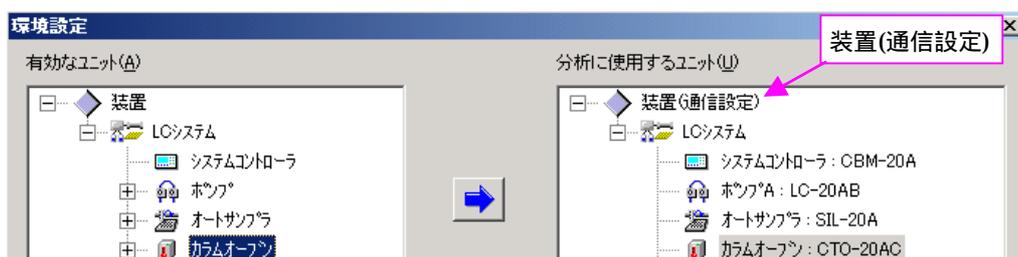
SPD-M10Avp をご使用の際には、PC の電源より先に SPD-M10Avp の電源をいれてください。うまく環境設定ができません。(例えば装置 1(通常検出器)と装置 2(SPD-M10Avp)を同じ PC で制御している時、装置 1 を分析使用中に装置 2 の電源を後から入れると環境設定で SPD-M10Avp を認識しないといったことになります。)

環境設定の手順を下記いたします。

- 1) [LC 分析]ウィンドウ左側のアシスタントバーから[環境設定]アイコンをクリックします。(注: SPD-M10Avp をご使用の際には、PC の電源より先に SPD-M10Avp の電源をいれてください。うまく環境設定ができません。)



- 2) 初回環境設定時は、[装置]画面が表示されます。以前に環境設定がされていれば、下記[環境設定]画面が表示されます。その場合は、[分析に使用するユニット]にある[装置(通信設定)]をダブルクリックすると[装置]画面が表示されます。



[装置]画面で [タイプ] (システムコントローラーの種類)、[通信]、接続方法の設定を行います。



接続方法の設定は、RS232C の場合は[COMポート]、Ethernet の場合は[IP Address]、SCSI の場合は[SCSI ボード]です。PDA を使用する場合は、PDA の通信方法の設定もを行います。

----注記----

CDD-10Avp/sp を接続する場合は、[タイプ]を[SCL-10Asp]に設定して下さい。  
そのとき、SCL-10Asp のバージョンが Ver.1(CDD-6Avp/sp 対応)の場合のみ、  
[通信]に[RS232C(S)]を選択して下さい。  
SPD-M20A は、Ethernet 接続のみです。  
SPD-M10Avp は SCSI 接続のみです。

- 3) [装置]画面で[OK]をクリックすると[環境設定]画面が表示されます。( [装置]画面で変更をした場合は、システムコントローラと接続している装置が自動的に[分析に使用するユニット]ボックスに読み込まれています。)

- 4) [環境設定]画面左下の [自動設定] ボタンをクリックすると、システムコントローラが認識している装置が自動で[分析に使用するユニット]ボックス読み込まれます。読み込めない装置は、[分析に使用するユニット]ボックスへ手動で登録します。(手動で登録したユニットのROMバージョンは読み込まれないのでご注意ください。)



- 5) [分析に使用するユニット]で、環境設定を行う装置をダブルクリックします。使用する装置の環境設定がすべて終了したら、[環境設定]画面の[OK]ボタンをクリックして下さい。

参考：LabSolution/LCsolution 取扱説明書 据付編 p25-28